

(A) 昭和48年1月17日

天 華 三 宅 行 啓

1. 名 明 の 名 称
2. 所 属 部 門
氏 名

東京市豊谷区豊谷 1-19-15
新 藤 正
(ほか3名)

3. 特 許 出 願 人
住 所
名 称

東京都千代田区九段二丁目1番2号
(004) 通 商 子 株 式 有 限 公 司
代表者 倉 田 元 治

4. 代 理 人
住 所
氏 名

東京都港区芝西久保長川町6番地5号
第二岡田ビル 電話(504)1894番
井堀士(7179) 内 山 明
(ほか1名)

⑪特開昭 49-97593

④公開日 昭49.(1974)9.14

②14. 特種偵查 48 - 7845

出願日 昭和48.(1973)1.19

審查請求 未請求 (全2頁)

序内整理番号

⑤②日本分類:

6376	54	101	E9
7013	54	101	E5
6952	23	104	G0

り、炭素の三価性を与えることが明かした。

本機は強き圧に當り支拂を加へたものであり、血液循環で液面を交換し初する液面を示すKにおいて、も細管通過後頃の血圧が低下した時この血圧低下を感知し、この血圧が正常値以下となつたとき経路Kにかかる抵抗を消除するようになすことにKより液面の位置を自動的に決定決定を記憶するものである。

不純物を除去し、純度の一定に保つておく。
する。

第1図は、 α と β の両方で成金を交換し、 α と β の両方の成金を1つを示すものである。かかる成形で成金を消した時、 α と β の両方の成金の値は1に下り、成金の値を1と示すことになる。この場合、 α と β の両方の成金は、 α と β の両方の成金の値は1に下り、成金の値を1と示すことになる。

然るにこの二つは次第を違へたるため不同
 であるが、殊に下した點、殊に大かかると庄を以
 するは、國語を改行た次第の一次點を指す

である。

図1において、製品には第1図に示す様な波長の電圧が印加され、又は試験により電圧表示が行なわれるが、回路用電圧が低下すると製品Rに、よりリレーに流れる電流が減少し、製品用電流が切断されれば、製品電圧がかかる事、を測ることができるようになつてゐる。

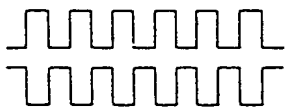
製品にかかる電圧を切断する手段としては上述の電圧に満足されることなく、他の方法例えば、製品回路に流れる電流を流し、回路用電圧が低下して製品に流れる電圧が印加された場合に、これを検出して製品用電流を切断する装置回路を設けても本発明の効力は減殺されうるのである。

以上説明したように本発明にあつては電圧電流で又電流のみ、しかも回路用電圧が低下して、製品に電圧電流が印加されることなく製品の寿命を著しく長くしたものである。

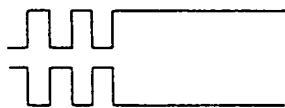
4. 図面の簡単な説明

第1図は製品に印加される波長の一例

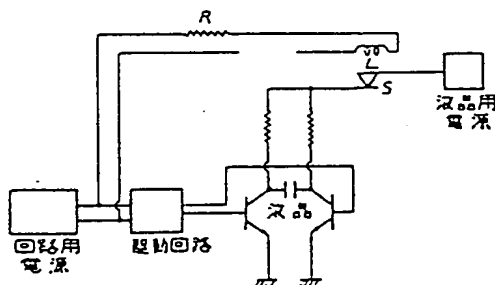
第1図



第2図



第3図



第2図は回路用電圧が低下した時に製品に印加される波長の一例

第3図は本発明の装置回路を設けた製品の一例電の一例を示す。

代理人 内 田 明
代理人 萩 原 亮

5. 添付書類の目録

- (1) 明 細 書 1 通
- (2) 図 面 1 通
- (3) 委 任 状 1 通

6. 前記以外の発明者および代理人

(1) 発 明 者

住 所 神奈川県横浜市神奈川区三枚町543
氏 名 飯 田 修 市
住 所 神奈川県伊勢原市上粕屋349-11
氏 名 小 泉 常 元
住 所 神奈川県川崎市中原区上丸子天神町349
氏 名 北 村 清 雄

出 代 理 人

住 所 東京都港区芝西久保桜川町6番地5号
第 二 岡 田 ビ ル
氏 名 弁 理 士 (7284) 萩 原 亮 一